

科目名	ファッションビジネス理論	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	島津和音

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識、マーケティングの基礎知識、ファッション商品知識を講義と演習により修得する。
ファッション業界に必要なファッション用語や市場情報の収集・分析方法を修得し、基礎的なファッションビジネススキルを培う。「ファッションビジネス能力検定3級」合格を目指す。

【科目の概要】

ファッションビジネスの基礎知識を中心に、ファッション商品が出来上がるまでの流れと、それに関する企業の組織と機能を講義やグループワークにより学ぶ。
ファッション商品知識とファッション感性を視覚的に学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期	
1～7	ファッションビジネスの概要	31	ショップ運営計画
8～9	ファッションマップ・自己分析	32～35	計数管理
10～11	ファッション消費と消費者行動	36～38	ファッションマーチャндаイジング
12～15	アイテム知識	39	ファッション流通
16～22	アパレル産業と小売産業	40～44	アパレル業界キャリアプラン
23	ショップ企画	45～46	ビジネス基礎知識
24～25	アパレル業界分析	47～48	トレンド感性
26～28	トレンド分析	49～51	アパレルとカルチャー
29	ファッションマーケティング	52～59	最近のファッションビジネス傾向
30	修業テスト	60	修業テスト

【成績評価方法】

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

教①：(財)日本ファッション教育振興会「ファッションビジネス 3 級新版 ファッションビジネス能力検定3級公式テキスト」
教②：(財)日本ファッション教育振興会「ファッション販売 3 改訂版」

【教材・教具】

問：(財)日本ファッション教育振興会・編「ファッション販売能力検定試験3級項目別試験問題・解答集」
辞典：ファッションビジネス学会・監督「ファッションビジネス用語辞典訂正版」 文化出版局

科目名	ファッションマーケティング&プランニング	整理番号						
学科	ファッションビジネス学科	期	通年					
コース	ファッションビジネスコース		昼間					
学年	1年	授業形態	講義	40	%	実習	60	%
時間数	120	作成者	塚井良太					
【科目の到達目標】								
マーケティングの基礎知識を講義と演習により修得し、市場の求めるファッション商品のプランニングが出来るようになる。 商品企画書を作る為に必要なファッション用語や、市場情報の収集・分析方法を学び、商品企画のプレゼンテーションが出来ることを目標にする。								
【科目の概要】								
ファッションマーケティング&プランニングの基礎分野である。本科目は、ファッション消費者行動とファッション生活をベースにしたマーケティング理論を解説する。 具体的には、既存のアパレルブランドを想定した新商品企画を行い、市場情報の収集、ファッショントレンドの分析方法を講義と演習により修得し、消費者ニーズとファッション生活に対する理解を深める。また、商品企画書を用いて説得力のあるプレゼンテーションを作成する。								
【授業計画】		前期		後期				
90分/コマ								
1・2	イントロダクション	31・32	ブランド企画	データ分析				
3・4	ハードな側面-ワードローブプラン-	33・34	ブランド企画	ブランドデータ分析				
5・6	ソフトな側面-雑誌分析-	35・36	ブランド企画	ターゲットデータ分析				
7・8	品揃え計画 市場調査	37・38	ブランド企画	中間プレゼンテーション				
9・10	品揃え計画 セレクトショップデータ	39・40	ブランド企画	コレクション分析				
11・12	品揃え計画 ターゲットデータ	41・42	ブランド企画	シーズンコンセプト企画Ⅰ				
13・14	品揃え計画 コレクショントレンドデータ	43・44	ブランド企画	シーズンコンセプト企画Ⅱ				
15・16	品揃え計画 シーズンコンセプトデータⅠ	45・46	ブランド企画	シーズンコンセプト企画Ⅲ				
17・18	品揃え計画 シーズンコンセプトデータⅡ	47・48	ブランド企画	コーディネート企画Ⅰ				
19・20	品揃え計画 コーディネート計画	49・50	ブランド企画	コーディネート企画Ⅱ				
21・22	品揃え計画 アイテム計画Ⅰ	51・52	ブランド企画	アイテム企画Ⅰ				
23・24	品揃え計画 アイテム計画Ⅱ	53・54	ブランド企画	アイテム企画Ⅱ				
25・26	品揃え計画 プロモーション計画	55・56	ブランド企画	アイテム企画Ⅲ				
27・28	品揃え計画 プレゼンテーション準備	57・58	ブランド企画	プロモーション企画				
29・30	品揃え計画 修業プレゼンテーション	59・60	ブランド企画	修業プレゼンテーション				
【成績評価方法】								
提出物評価60％ テスト30％ 授業態度（積極性）10％								
【教科書・参考書】								
教①：「ファッション販売3 ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」（財）日本ファッション教育振興会 教②：（財）日本ファッション教育振興会「ファッションビジネス3級新版 ファッションビジネス能力検定3級公式テキスト」								
【教材・教具】								
PC、タブレット								

科目名	販売技術Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	島津和音
【科目の到達目標】 ファッションアドバイザーに必要な基本的な知識と技術を修得し、印象の良い所作を身につける。 顧客のニーズを引き出し、ファッションアドバイザーとしてパーソナルな対応の体現ができる。			
【科目の概要】 ファッションアドバイザーに必要な基礎知識を講義により修得し、お客様対応の技術をロールプレイングにて学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1・2	コミュニケーションスキルⅠ プロのFA像Ⅰ ディスカッション	31・32	カウンセリングスキルⅠ アサーション、鏡前対応
3・4	プロのFA像Ⅱ プレゼンテーション	33・34	販売OJTⅠ シスター顔合わせ レジ対応 金銭授受・お見送り所作
5・6	バーバル＋ノンバーバル FAの基本、好印象な接客所作	35・36	カウンセリングスキルⅡ クロージング
7・8	購買心理 8段階 FA所作Ⅰ 入店率・滞留時間アップ	37・38	お直し対応 ボトムス
9・10	アプローチⅠ パーソナルスペースと距離感	39・40	販売OJTⅡ 課題特定・弱点強化 接客スキル強化Ⅰ 自己分析
11・12	アプローチⅡ アプローチバリエーション	41・42	接客スキル強化Ⅱ パーソナル対応
13・14	セールストークテクニックⅠ 商品知識向上	43・44	接客スキル強化Ⅲ 一次審査対策
15・16	リサーチ・研究 接客リサーチ・研究・落とし込み	45・46	上田学園コレクション 一次審査
17・18	セールストークテクニックⅡ 商品説明からセールストークへ	47・48	販売OJTⅢ 弱点強化 接客スキル強化Ⅳ 二次審査・テスト対策
19・20	コミュニケーションスキルⅡ 会話力、TPO知識向上	49・50	上田学園コレクション 二次審査
21・22	前期中間実技テスト	51・52	後期中間実技テスト
23・24	ニーズの引き出しと把握Ⅰ お聞きだしと受け止め	53・54	接客スキル強化Ⅴ 強みを伸ばす対応
25・26	ニーズの引き出しと把握Ⅱ 質問力向上	55・56	販売OJTⅣ まとめ 修業テスト（筆記）
27・28	修業テスト（筆記）	57・58	接客ロールプレイング 応用スキル
29・30	修業テスト（実技）	59・60	修業テスト（実技）
【成績評価方法】 課題評価 60％ 修業試験 30％ 授業態度 10 %			
【教科書・参考書】 「ファッション販売3 ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」（財）日本ファッション教育振興会 高村是州「スタイリングブック」グラフィック社			
【教材・教具】 「ファッション販売3 ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」（財）日本ファッション教育振興会 「WWD」販売関連紙面			

科目名	コンピュータ演習	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	90	作成者	塚井良太 / 樂愛実

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につけるとともに、Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft Power Pointの基本操作を理解し、Adobe Illustrator、Adobe Photoshopでの画像、イラスト作成できる。また、店頭やビジネスの世界でPCを使える人材を育成する。

【科目の概要】

ファッションビジネスに必要と思われる、ネットを使ったリサーチ手法から企画書作成までのコンピュータの基礎技術を修得する。講義を行い教員と同時進行でコンピューターを使用し、それぞれの課題を取り組み、目的に合わせてソフトウェア選択し、使用する。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	PC基本操作・メール	16・17	illustrator 基本操作
2	Googleアプリ	18・19	ハンガーイラスト
3	Photoshop 基礎操作	20・21	ハンガーイラスト
4	Photoshop 基礎操作	22・23	illustrator 応用操作
5	Photoshop 応用操作	24・25	illustrator 応用操作
6	Photoshop 作品制作	26・27	商品企画
7	Photoshop 作品制作	28・29	商品企画
8	Excel 基本操作	30・31	商品企画
9	Excel 基本操作	32・33	商品企画
10	Word 基本操作	34・35	商品企画/修業テスト
11	Word 基本操作	36・37	商品企画
12	ショップ企画書	38・39	商品企画
13	修業テスト	40・41	商品企画
14	illustrator 基本操作	42・43	商品企画
15	illustrator 基本操作	44・45	商品企画

【成績評価方法】

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

- ①井上香緒里 & できるシリーズ編集部「できるWord&Excel&Power Point2013」株式会社インプレスジャパン出版
- ②片岡巖「世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書」株式会社技術評論社
- ③片岡巖「世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書」株式会社技術評論社

【教材・教具】

パソコン、USBメモリー、ファッション雑誌、A4ファイル

科目名	ビジネスマナー	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60% 実習 40 %
時間数	60	作成者	津森祐子

【科目の到達目標】

就職活動時の企業訪問や面接試験に必要な社会人としての基本的なマナーを身につけます。卒業後の企業人として必要なコミュニケーション能力やマナーの応用力を養っていきます。美しい立ち居振る舞いを修得しワンランク上の人材を目指します。また、サービス接客検定2級・準1級の取得も目指し、達成感や自身につなげます。

【科目の概要】

この科目では人と人とのつながりの基本のコミュニケーション力を育成します。マナーの基本でもある身体言語（表情・態度・身だしなみ・挨拶）と言葉づかいを実践的に学習します。立ち姿から、笑顔の作り方、メリハリのある話し方を、楽しく覚えて頂きます。コミュニケーション能力を養って、魅力ある社会人を目指しましょう。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	ビジネスマナーの必要性 (マナーチェックシート)	16	サービス接客検定 筆記対策 (資質・専門知識・一般知識)
2	インターネットのモラル (SNS拡散の影響 著作権侵害など)	17	サービス接客検定 筆記対策 (対人技能)
3	挨拶の重要性と心のこもったおじぎ (綺麗な姿勢から歩き方のレッスン)	18	サービス接客検定 筆記対策 (実務技能)
4	基本の自己紹介・面接対策授業 (第一印象にかかわる基本)	19	サービス接客検定 筆記対策 (過去問題練習)
5	言葉以外のコミュニケーションの手法 (アイコンタクト・表情・発声・発音)	20	サービス接客検定 筆記対策 (準1級面接対策)
6	基本の姿勢 身ごなし ビデオチェック (1～5確認テスト)	21	就職活動で必須 自己分析の重要性 (性格・ライフプランニングシート作成)
7	現時点での敬語チェック・受付のマナー (第一印象にかかわる基本の総復習)	22	就職面接のための準備 ① (自己振り返りシート作成)
8	敬語の種類と使い方・案内のマナー (立場に応じた言葉づかい)	23	就職面接のための準備 ② (自己紹介シートの作成)
9	接客用語の基本・ドアの扱い方のマナー (クッション言葉・婉曲表現・面接対策)	24	就職面接のための準備 ③ (質疑応答の実践) サービス検準1対策
10	接客用語の応用・電話応対練習 (言葉遣い実践) ※8～10確認テスト	25	就職面接のための実践練習※実技試験 (入室～退室まで 1分間自己PR)
11	名刺の扱い方・サービス2級検定対策 (名刺交換の実践練習)	26	電話応対のマナー・メールのマナー (就職活動での電話・メールのマナー)
12	敬語の総復習・期末試験対策授業 (サービス接客検定記述問題 対応)	27	電話応対の実践 (てるコーチを使って実践)
13	前期期末テスト	28	履歴書の書き方・封筒の書き方
14	サービス接客検定対策(1) (資質・専門知識)	29	後期期末テスト
15	サービス接客検定対策(2) (一般知識)	30	グループディスカッションのマナー (グループ面接のマナー)

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

田野直美 著 「ビジネスでの常識集」 トータルマナー株式会社 最新版
元吉昭一 著 「サービス接客検定 実問題集 1-2級」 財団法人実務技能検定協会 早稲田教育出版 最新版

【教材・教具】

ビデオカメラ・モニター、 てるコーチ
サービス接客検定 準1級 ロールプレイングDVD、 その他 随時 練習プリント

科目名	商品製作Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	金児優

【科目の到達目標】

洋服の構造を理解し、ファッションビジネスにおける洋服の製作工程を把握する。

【科目の概要】

アパレルの商品における企画⇒生産⇒販売の流れでは、将来的に企画・販売職に就く為に洋服の扱い方や「お直し」に必要な知識を身につける。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期	
1・2	ミシン講習会	31・32	ブラウス製作Ⅴ － 襟付け
3・4	購入 洋裁道具の説明 使用準備	33・34	ブラウス製作Ⅵ － 袖付け
5・6	手縫いの基礎Ⅰ	35・36	ブラウス製作Ⅶ － 仕上げ
7・8	手縫いの基礎Ⅱ	37・38	ブラウス発表準備 － 撮影
9・10	生地屋リサーチ	39・40	ブラウス発表
11・12	ミシン練習 － 雑巾	41・42	スカート製作Ⅰ － パターントレース
13・14	トートバック製作 裁断 ミシン	43・44	スカート製作Ⅱ － 生地裁断
15・16	トートバック製作 ロックミシン	45・46	スカート製作Ⅲ － 表地・裏地作り
17・18	トートバック製作 完成	47・48	スカート製作Ⅳ － ファスナーつけ
19・20	ブラウス研究Ⅰ － 分解	49・50	スカート製作Ⅴ － 裏地合わせ
21・22	ブラウス研究Ⅱ － 組み立て	51・52	スカート製作Ⅵ － ベルトつけ
23・24	ブラウス製作Ⅰ － パターントレース	53・54	スカート製作Ⅶ － 仕上げ
25・26	ブラウス製作Ⅱ － 裁断	55・56	スカート製作Ⅷ －
27・28	ブラウス製作Ⅲ － 身頃・ポケット作り	57・58	修業テスト / スカート発表準備
29・30	ブラウス製作Ⅳ － 見返しつけ	59・60	スカート発表

【成績評価方法】

課題作品の評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子「立体式洋裁」服飾手帖社 改訂版
「シャツ」・「スカート」上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

筆記用具 洋裁道具一式 服飾資材

科目名	ビジュアルマーチャンダイジングⅠ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	30	作成者	道仲阿子
【科目の到達目標】 ファッション・リテールにおけるVMの基礎概念を体系的に修得することを目的とする。 理論の座学に留まらず、実店舗や商業施設における実地調査を主軸に据え、多様な店舗形態におけるディスプレイの実例を横断的に観察・分析することで、優れたデザインが備える共通点を抽出する。			
【科目の概要】 実際に什器や商材に触れる経験を通じて、店舗に及ぼす心理的影響を直感的に理解し、次年度の専門的・実践的演習に向けた「店舗ディスプレイの土台」を構築する。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1 オリエンテーション 2 VMとは 3 ディスプレイのトレンド 4 リサーチ方法 5 リサーチ① 6 リサーチの分析と実践 7 リサーチ② 8 リサーチの分析と実践 9 リサーチ③ 10 リサーチの分析と実践 11 リサーチのまとめ 12 期末テスト 13 ショップ教室ディスプレ変更 14 上安祭ディスプレイ計画 15 プロップ選定			
【成績評価方法】 提出課題の評価 60%、 期末試験 30% 授業態度 10%			
【教科書・参考書】 なし			
【教材・教具】 授業スライド 持っている学生はPC,iPadを持参すること			

科目名	コーディネートテクニック	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	30	作成者	樂愛実

【科目の到達目標】

コーディネートを行うために必要なアイテム名や組み合わせの基礎知識を講義と演習により修得し、テイストレベルに捉われず、幅広いデザインやテイストのアイテムを取り入れ、コーディネートテクニックを修得する。

【科目の概要】

バランスや配色のポイントなどを講義と演習により習得し、個性を最大限引き出せるようなトータルコーディネートの理解を深める。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期
1	骨格診断・パーソナルカラーについて（導入）	
2	骨格に合ったアイテム	
3	タイプ別ヘアメイク（実践）	
4	アイテム知識	
5	コーディネートしやすいアイテムの選び方	
6	「5着6コーデ」の作り方	
7	小物使い・レイヤード	
8	マイルールの作り方	
9	マイルールプレゼン	
10	オケージョン1	
11	オケージョン2、スタイリングショー概要説明	
12	スタイリングショー準備	
13	スタイリングショー準備	
14	スタイリングショー準備	
15	スタイリングショー	

【成績評価方法】

提出課題の評価 60%、 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

「骨格診断×パーソナルカラー 本当に似合うBestアイテム事典」 西東社

【教材・教具】

科目名	パーソナルカラー	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 70 % 実習 30 %
時間数	30	作成者	三木沙織
【科目の到達目標】 ファッション分野における色彩の基礎理論を学び、色が見える仕組みから配色の考え方まで体系的に理解する。 ファッションにおいて色と身につける色との共通項を色群化し、コーディネートにおいて その人本来の美しさを引き出す色をクライアントに寄り添いながら、相手に伝わる提案力を身につける。			
【科目の概要】 色彩の基礎やパーソナルカラーの基礎を学び、一人一人の魅力や気持ちに寄り添いながら トータルコーディネートの提案力の修得を目指す。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1 ファッションと色彩、色彩学とは、色が見える仕組み 2 光と色、混色 3 色の三属性 4 色相環 5 トーンの基礎 6 パーソナルカラーとは 7 4 シーズンの特徴 8 人の持つ色の特徴 4 シーズンの分類 9 ドレーピング診断手順、診断基準 10 ドレーピングで自分のパーソナルカラーを知る 11 配色の基本、色のイメージや心理的効果 12 ファッションでの配色における色相、トーンの変化、面積比 13 ファッションでの配色における色相、トーンの変化、面積比 14 修業テストカラーージュ作成 15 修業レポート、授業アンケート			
【成績評価方法】 提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%			
【教科書・参考書】 プリント配布、デザインの色彩			
【教材・教具】 カラードレープ、雑誌（各自収集）、カラーカード、のり、ハサミ、クリアファイルバインダー			

科目名	ファッションドローイング & デザイン	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	金児優

【科目の到達目標】

ファッション産業界に必要なデザイン画及びデザインの基礎知識、ファッションプロポーション・スタイル・シルエットの理解。色々なポーズ着装・着色方法・平面画の描き方とテクニック、時代に即応したコーディネート表現を修得する。色々なスタイリングやデザインを理解し、トレンド感性を伸ばす。

【科目の概要】

グローバルな観点からトレンドを分析し、ファッション業界に必要なファッションスタイリング、ファッションデザイン知識の講義、スタイル画・ハンガーイラストの描き方を修得。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 導入
- 2 直立ポーズ
- 3 シルエットとライン
- 4 シルエットとラインワーク
- 5 シルエットとライン(小テスト)
- 6 スタイル・ボディ画(ワンピース) ①
- 7 スタイル・ボディ画(ワンピース) ②
- 8 素材の着色方法①
- 9 小テスト
- 10 エレガントとスポーティ①
- 11 エレガントとスポーティ②
- 12 素材の着色方法②
- 13 素材の着色方法③
- 14 スタイリングバランス(個人)
- 15 素材の着色方法④
- 16 スタイリングバランス(ディスカッション)
- 17 アイテム画・ハンガーイラスト
- 18 商品企画コーディネート画
- 19 アイテム画・ハンガーイラスト
- 20 商品企画コーディネート画
- 21 アイテム画・ハンガーイラスト
- 22 商品企画コーディネート画
- 23 アイテム画・ハンガーイラスト
- 24 商品企画コーディネート画
- 25 トレンドスタイリング
- 26 商品企画・アイテム画
- 27 商品企画・アイテム画
- 28 商品企画・アイテム画
- 29 修業テスト
- 30 商品企画・アイテム画

【成績評価方法】

課題60% 修業テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

辞典:ファッションビジネス学会・監督「ファッションビジネス用語辞典訂正版」文化出版局

教①:高村是州「ファッションデザイン画」株式会社グラフィック社

教②:(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[I]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

教③:高村是州「スタイリングブック」株式会社グラフィック社

【教材・教具】

コピックマルチライナー・彩色(アクリルガッシュ)用具一式・色鉛筆・定規

科目名	服飾素材論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	ファッションビジネスコース スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本育子

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維―綿
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維―麻
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維―毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維―絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 修業テスト

【成績評価方法】

提出物(レポート)の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

成田 典子「テキスタイル用語辞典」テキスタイルツリー
 田中道一「生地の事典」株式会社みずしま加工

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッション史Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	ファッションビジネスコース スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

国の文化の違い、美術、建築、音楽、映画など文化的関連性を学び、ブランド、デザイナー、トレンド、時代背景を知る。ファッションの現代史を理解した上で、ファッションビジネス業界で活躍できる人材の育成を目指す。

【科目の概要】

1918年以降のパリモードとラグジュアリーブランドの誕生、現代のトレンドまでを様々なつながりから理解し、これからも続くファッション変化を予測できる基礎ファッション史知識の修得を目指す。

【授業計画】90分/コマ

- 1 映画とファッション史
- 2 音楽とファッション史①
- 3 音楽とファッション史②
- 4 音楽とファッション史③
- 5 時代のアイコンとファッション史
- 6 時代のアイコンとファッション史
- 7 ジェンダーの変化で知るファッション史
- 8 戦争と平和で知るファッション史
- 9 ファッション消費の歴史
- 10 年代で知るファッション史①
- 11 ブランドの誕生から現代①
- 12 ブランドの誕生から現代②
- 13 年代で知るファッション史②
- 14 スポーツとファッション史
- 15 修業テスト

【成績評価方法】

課題 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

「世界服飾史」監修深井晃子・美術出版社

【教材・教具】

「20世紀からのファッション史: リバイバルとリスタイル」横田尚美・原書房
「ストリート・トラッド: メンズファッションは温故知新」佐藤誠二郎・集英社
「ザ・ストリートスタイル」高村是州・グラフィック社
「世界服飾大図鑑」DK社・河出書房新社